

公共サインに関するアンケート集計

期間 始	平成19年11月22日	72日間	回収数	美術館	22計	54通
期間 至	平成20年2月1日			武家屋敷	13	
				旧堀田邸	19	

選択回答総括

問1 どこからいらっしゃいましたか？

県外	18	33.3%
県内	26	48.1%
市内	10	18.5%

問2 当該施設への交通手段を伺います(複数回答)

電車	27	50.0%
バス	1	1.9%
車	17	31.5%
自転車	6	11.1%
徒歩	11	20.4%
その他	0	0.0%

問3 当該施設への来館回数を伺います

初めて	32	59.3%
複数回	21	38.9%
未記入	1	1.9%

問4 目的地への案内表示の状況を伺います

十分	17	31.5%
不足	31	57.4%
不要	2	3.7%
その他	2	3.7%

問5 特に案内表示が不足していると感じられた施設を教えてください(複数回答)

市内全体	12	22.2%	市立美術館	5	9.3%
JR佐倉駅周辺	7	13.0%	旧堀田邸	15	27.8%
京成佐倉駅周辺	8	14.8%	その他	3	5.6%
武家屋敷	19	35.2%	(文化財センター・城址公園・駐車場案内)		

問6 その他お気づきの点がありましたら教えてください

回答あり	31	57.4%
回答なし	23	42.6%

※自由意見は別紙

まとめ

今回の調査は観光施設にて行ったため、回答者の8割以上が市外からの方の意見でした。公共サインの現状について、土地勘の少ない方の意見は貴重なものであり、有益な調査であったと思われま

す。内容としては、役所・公民館など公共施設への誘導看板に対する意見はほとんどなく、佐倉市の観光施設への誘導看板の不足という意見が目立ちました。

観光施設が分散している、わかりづらいところにあるという地理的要因も考えられますが、各施設を回ろうとすると、どれか一つはたどつづくのに苦勞したという意見が多く、各施設単独の誘導サインではなく、各施設がつながるような内容(例えば、旧堀田邸に武家屋敷までの道案内を付けるなど)の誘導サインの設置の必要性が感じられる結果となりました。

公共サイン整備の方向性として、観光客を含む市外からの来訪者の誘導目的に特化するのであれば、半数を占める電車での来訪者に対し、駅からの施設まで、各施設間の連携をとったサイン整備を進めてゆく必要であると思われま

す。また、今回の調査では、市民が日常生活において必要と思われるサインについての意見は集めることができなかったため、市民に対するアンケートについて、実施方法、実施個所の検討を次回への課題と考えています。